

# 高野新聞

Vol.78



たかの  
**高野 たけし**

**無所属 42歳**

逗子市議会議員（4期）

- ・議会運営委員会委員長
- ・議会活性化推進協議会会長
- ・総務常任委員会委員
- ・基地対策特別委員会委員

## 高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

神奈川県内の政令市を除く16市の財政状況を比較してみると、逗子市は財政力指数、経常収支比率ともかなり厳しい状態にあることが分かります。

財政力指数の比較		経常収支比率の比較	
1 厚木市	1.084	1 藤沢市	87.9%
2 鎌倉市	1.019	2 小田原市	88.2%
3 藤沢市	0.990	3 平塚市	91.4%
4 海老名市	0.988	4 大和市	91.5%
5 平塚市	0.960	5 座間市	91.6%
6 伊勢原市	0.959	6 海老名市	93.4%
7 小田原市	0.951	7 伊勢原市	93.6%
8 大和市	0.950	8 鎌倉市	93.7%
9 南足柄市	0.947	9 茅ヶ崎市	94.3%
10 茅ヶ崎市	0.928	10 秦野市	95.7%
11 綾瀬市	0.918	11 綾瀬市	96.0%
12 秦野市	0.897	12 横須賀市	96.0%
13 座間市	0.869	13 厚木市	96.3%
14 逗子市	0.851	14 南足柄市	96.9%
15 横須賀市	0.800	15 逗子市	97.4%
16 三浦市	0.674	16 三浦市	101.0%

※財政力指数は3ヶ年平均、経常収支比率は平成25年度決算ベース

**財政力指数**：財政上の能力を示す指数。  
この指数が1を超えるほど財源に余裕がある。

**経常収支比率**：経常一般財源に対する経常的経費の割合。  
一般的には70～80%が望ましいとされている。

政治資金の残り **あと 34,046円**

(12/1～2/28の内訳)

支出…ポスター掲示用広報版 2,076円  
ポスター掲示用結束バンド 1,317円

### ◆前年度比 2.2%増となった新年度予算案

2月25日から開催された第1回定例会において、平成27年度予算案(345億3,280万円)が示されました。政策予算である一般会計は平成26年度に比べ減額されているものの、予算総額全体で微増となったのは、「国民健康保険事業特別会計」、「介護保険事業特別会計」、の大幅な増額が要因と言えます。そして、高齢化社会の到来により今後もこれら特別会計の歳出は増え続けていくことが懸念されます。

そこで…

- ①市民の健康増進策の拡充を図り、保険料の圧縮に努める
  - ②子育て支援策、生活環境向上策などを実施し、減少が想定される人口の維持・増加に努め、市税収入の根幹をなす個人市民税の確保を図る
  - ③市が実施している事業全体の仕分けを行い、福祉予算の確保に努める
- など、複合的な対策を講じる必要があります。

### ◆「あれか、これか」の時代へ

左にある表の通り、本市の財政状況が厳しいことには変わりはありません。しかしながら、平成27年度は高齢者の健康増進にかかる事業の拡充や子育て世代の情報ネットワークを目的としたポータルサイトの構築などを進め、医療費の削減、生産年齢人口の維持に努めるための施策が盛り込まれています。また、中期的な視点では、本市の実状に即した包括ケアシステムの構築を進め高齢化率の上昇に伴う福祉予算の増大を回避するとともに、市民参加の事業総点検をもって事業の改善や取捨選択を進めていく方向性が示されたことから、私は平成27年度予算案に賛成としました。

財源に限りがある時代だからこそ、まちの将来ビジョンをもとに、「あれも、これも」から「あれか、これか」に事業を絞り行政運営がなされるよう、議員の立場で引き続きチェックしていきたいと考えています。

## Topics ～平成27年度カタチになります～

高野たけしがこれまで行政当局に提案してきた政策で、平成27年度からの実施が決定したものの一部をご報告します。

### 【小児医療費助成制度が拡充】

現在、小児医療費の助成対象は小学校3年生までとなっていますが、小学校6年生までに拡大されることになりました。制度の拡充に伴い、事務作業の変更やシステムの改修等が必要となるため、スタートは10月1日からを予定しています。

人口減少が進む昨今、子育て支援策の充実は若い世代の定住促進に繋がるため、どこの自治体でも力を入れてきています。医療費の助成制度を例に挙げると、すでに中学校3年生まで引き上げているところや、所得制限を撤廃しているところも出てきています。こうした中、こういった魅力ある施策を行っていくかが本市の今後の課題と言えます。



### 【小・中学校にタブレット端末を導入】

国の緊急経済対策交付金を活用し、公立小中学校の特別支援学級の授業でタブレット端末を使用することになりました。導入に際しては、すでに特別支援学級で学習支援に活用している大和市を参考にしながら進めていくとのこと。

全小中学校にタブレット端末を導入し、様々な形で授業に活用している東京都の荒川区が全国的に注目を集めていますが、本市でもタブレット端末の導入台数をさらに増やし、特別支援学級に限らず普通学級においてもICTを活用した授業が展開されていくことを期待しています。



### 【事務事業総点検を実施】

市が実施している事務事業（個別計画や基幹計画の懇話会等で意見聴取するものを除く）について、市民による総点検を実施することになりました。4年間で全ての事業の点検が完了するように、毎年点検では事業数を絞って行われることとなります。また、参加市民については無作為抽出にて選んでいくとのこと。

この総点検を通じて、市民の方々から出された意見をもとに市民ニーズに即した事業の改善や取捨選択を行い、しっかりと財政の健全化を図っていただきたいと考えています。



## どーなっているの？

市民の皆様からいただいたご意見、ご要望にお答えするコーナーです。

沼間3丁目にお住まいの方から空地の枝葉が道路にはみ出しており、通行の障害になっているとの相談がありました。

現地を見に行ったら、当該地は谷戸の狭隘道路に接しているため、車などを避けるため歩行者が道路の端によるだけで枝葉が邪魔になってしまうような状態でした。（大人の場合にはちょうど顔の高さに枝葉がくるため）また、車の通行においても枝葉がこすれてしまう個所もあったほどです。

この件に関しては、「逗子市空き家等の適正管理に関する条例」を所管する市民協働部、及び市道を管理する都市整備課を通じて土地所有者に伐採の依頼を行ったところ、早速対応してくれました。

ここ最近空き家の管理や活用に関するご意見が以前よりも増えてきており、市の方にも「逗子市空き家等の適正管理に関する条例」を施行した今年の4月以降だけで、すでに29件の相談があったとのこと。

今後人口減少が進んでいくとの予測を勘案すると、空き家の管理、有効活用については地方自治体が独自に取り組んでいくべき課題の一つであると考えています。



伐採前



伐採後

## あなたの声を高野たけしへ

市政に関するご意見、ご要望等がありましたらお寄せ下さい。



Tel / Fax: 046-871-7368 E-mail: takano\_zushi@yahoo.co.jp